

工事タイムス

〔道路鋪裝材に 整理時代來か〕 我國の道路建設計畫は都市計畫にあり從つて道路鋪裝は發達し各種鋪裝材料の輸入或は研究も進み數十種に達する各鋪裝材料はそれべつ特長を發揮し各々需要を喚起してゐたが最近不景氣により道路鋪裝界は非常に閑散狀態を示したが何れが最も好成績になるかは判然しない。

従來の材料は半永久的のものと簡易鋪裝材料にもそれべつ多種多様あり我國道路鋪裝材料として何れが適材であるとも斷定は出來得ないが之に反して道路鋪裝材料は交通上重要な地位を占め益々その種類は増加の一方にある而して近來の如く都市に於ける防音問題がやがましく唱導されつゝあるに見るとこれに間接直接の關係を有する道路鋪裝材料は複雑から單純へと進み近き將來に於て道路鋪裝材料の整理時代が来るものと觀測されてゐる依つて最近この點に留意してゐる業者も渺くないと。

〔東京結核療養所 擴張設計進む〕 擴張に擴張を續けつゝあつた東京市 野方結核療養所は現在八百餘名を收容してゐるにも拘らず入所希望は逐年増加し既に狹隘を感じる状態にある爲東京市では昨年七十萬圓を計上し昭和五六年度の二ヶ年繼續事業として更に擴張することになり豫て建築課に於て設計中であつたが、最近八分の進捗状態を示してゐる。

右は鐵筋コンクリート三階建地下附延一千三百坪でこの工費約三十五萬圓、外に看護婦寄宿舎本館二階建及平家延百六十坪、この工費一萬二千圓、屍室其他木造平屋六十六坪等でこれが完成すれば一千七十人の收容能力となり世界有數の結核療養所となる譯である、これが起工は看護婦寄宿舎は本年度内に指名入札に附する筈であるが、本館は昭和六年度早々即ち明春四月頃指名入札を執行し直ちに起工する筈である。

〔世界にも稀な理想的換氣装置を採用か〕 大阪市高速度地下鐵工事は世間の異常な視聽を集め第一期工事中梅田より本町に至る間は昭和六年度に於てトンネル工事が完成の豫定で工費概算一千百萬圓に上りうち起債によるものは八百萬圓となつてゐるが、地下鐵内に於ける換氣装置については市當

局の最も苦心をしてゐる所で最新、最良の方法が日々考究されつゝある。

元來地下鐵の換氣に採用されてゐるものには(一)ヒストン・アクションと稱するものでこれはハイ・スピードを以て走る電車をヒストンとしてトンネル内における空氣の自然換氣を行はんとするもので獨逸ベルリンの地下鐵はこのシステムになつてゐるが、市當局の意向では大阪市の如き塵埃の都市では到底之を採用する事は不可能であるとしてゐる(二)次に機械的換氣装置があり、これには吹込式(ブローイン)と排氣式(エクゾースト式)とあり、その中の何れか一般に用ひられてゐる處である。

大阪市當局の採用せんとするは此の兩式を併用せるバランス、システムとも稱すべきもので人の団集する停車場には新鮮な空氣を送るファンを裝置し、停車場には排氣装置を行はんとするもので未だ斯くの如き完全なる換氣装置は世界何れの地下鐵にも見られない處でまさに世界的と稱し得べきものであり、完成の曉は各國注視の的となるであらう、從つて換氣に要するファンについても市當局では慎重に各種のものを研究選定中であるが設計も今年中には完成の見込みであると。

〔帝都建築出願 九月は增加〕 帝都建築界のパロメーターとも見るべき警視廳建築課への建築出願は本年一月の四千件が逐月増加し五月には七千五百件の最高率を示し、建築界果して不景氣かの疑問へ抱かしめる増加振りであつたが、六月に入つて六千件に減少し七月八月は漸次減少し五千五百件で此調子では更に減少の一途をたどるのではないかと見られてゐるが九月に入つて一躍六千五百件に増加してゐる、而して本月も九月に比して減少しないだらうと云はれてゐるから出願統計から見た帝都の建築界は幾分活況に轉換しつつある譯である。

〔新聞會館 新築〕 新聞會館は帝國議會新議堂の新築を機會に總工費七十萬圓を投じて新築すべく中村藤平氏の書記官長時代に承認され議會に提出されることになつてゐたが、現田口書記官長は土地狭隘と豫算上難を理由に早急に具體化する事は困難な態度にあるので同盟新聞記者俱樂部では

工事タイムス

貴衆兩院の議員クラブとして現議院を舊首相官邸跡に六十萬圓の經費を投じて移轉するが如き賛澤なクラブ等を建設する豫算がありながら、この態度は通信機關たる新聞團を輕視するものだとし會館促進運動を起した。

羽田飛行場　日下飛鳥組の手で八萬餘圓の工費
土盛工事　を以つて工事中である羽田の國際飛行場は六千立坪の盛土工事中であるがこの土砂運搬は坪四圓で下請にされてゐるが現在鶴見から海路で運ぶ經費は坪當り六圓を要し既に下請價格と二圓の開きを示してゐる、而かも來月に入れば冬期お定りの西風で海路に依る日數は一ヶ月一週間程度であるからこの調子では工期たる來年三月迄は完了困難と見られ、今後これに對して責任者たる飛鳥組は如何なる方針を探るか業界各方面の視聽を集めてゐる

梅田十三路線　大阪市の都市計畫路線梅田十
愈よ基礎杭着工　三線及び堂島十三線は都計畫中の難物と稱せられるもので爲めに都計豫算に狂ひを生じたとまで稱せられるが、其後設計其他の準備も終つたので愈々工費約九十五萬圓を以つて本月下旬基礎杭の打込に着手明年夏迄に全工程を完了せしむることとなつた。

その設計内容を窺ふに鐵筋コンクリート造りの高架道路であり路面下を使用して建築敷地を造成し、一般に利用せしめんとするもので梅田十三高架道路は延長約四五〇米、幅員二七メ三、堂島十三間は延長一〇五メ、幅員二一メ八五で高架道下には中央部を縱貫して幅員五メ四の道路を設けその兩側には市場、ガレーラ店舗等を造作すべき用地を設ける等で之の利用し得べき土地面積は總數約二千坪であり、時價に見積つても相當の額の上るものと思はれる。

尙梅田十三線高架道路が江戸堀十三線を誇ぐ箇所は陸橋經間を十五メとし、江戸堀十三線から高架道路と連絡する箇所は幅員約四メ五の斜面路を設け又從來の十三小橋は其儘とし之に通する舊道路は橋の北詰で高架道路に連絡する筈である。

時潮に順應して天
神橋來月から着工　浪花名物の一として有名な天神橋も時の流れとともに改築にとりかゝる事となり愈々來月初め基礎施工事

を開始、中旬には現在の天神橋の取扱ひ工事と假橋建設工事の入札が行はれる、而して之が工事に先立ち南北両側家屋の立退きも行はれ計画が順調に進捗すれば來年二月には本工事に着手の運びに至つてゐる。

右設計内容としては鐵筋コンクリート造拱橋幅員二十二メ五徑間とい

第一徑間は北詰船溜徑間長十六メ五、拱矢二メ四〇△第二徑間=堂島川徑間長六十二メ拱矢四メ四五△第三徑間=中之島、三十七メ七拱矢三メ△第四徑間=土佐堀川五十四メ五、拱矢四メ三〇△第五徑間=南詰高水敷二十四メ拱矢五メ四橋長二百十メ七桟下高堂島川中央四十四メ土佐堀川中央三十八メの瀧酒な新橋で

形式としては大體田蓑橋と同型のものであるが徑間が長いことにかけては日本第一と稱され工事費坪九百圓以上を要するものといはれてゐる、橋巾は十二間で兩側に十尺宛のアスファルト鋪装の歩道軌道が設けられその他橋の欄干等は未が研究中であるが大體現在の

田蓑橋と同様であると見れば間違ひなく特徴としては便所が三つ付くことで二つが兩脇の橋下につき一つは例の中之島の脚臺に付けることとなり斷然大阪に於て新しく誇り得べきモダン橋とならう

大阪一の曲線橋　主經間百八メ、人道橋として櫻宮橋新築成る　ては斷然東都永代橋の百メと云ふ從來の記録を破つた、大阪都計畫一等大路第三類第廿四號線の淀川に跨る櫻宮橋はその設計に又新機軸を出し色々として工を進めてあつたが、今回愈々大體の工事を終り来る廿八日を下して府知事、市長以下關係者多數出席の下に盛大なる「工式」を行することになつた。

同工事は昭和三年五月十五日大林組の橋梁架設工事、山中工業の拱臺基礎抗打工事、松尾鐵骨の鋼鉄桁徑間鋼材製作架渡及現場鉄鋳工事、汽車會社の三鉄拱徑間鋼材製作架渡及現場鉄鋳工事請負の下に工費豫算百三十萬圓を投じて着手せられたもので橋梁塗装は全部アルミニウムペイントを以てし特に接付徑間に四塗料會社の比較試験塗装を行はしむる等市當局自慢のものと稱せられてゐる

工事タイムス

尚ほ構造概略を摘記すれば左の如く特に主徑間の下路三鉄鋼拱は從來此種橋梁に見ぬ新方式を採用したものである。

▲橋徑間下路三鉄鋼拱、接付徑間上路鋼板橋▲橋長一八七米七六▲幅員主徑間二三米四五四、接付徑間二一米八五〇▲橋床鐵筋混擬土床版▲鋼材量二三九四噸四五（主徑間二〇四一五接付徑間三五三延九五▲混擬土量九二七立米四五、鐵筋量九五噸四九▲橋面舗装、幅員=軌道五米六九車道四米八八二、歩道（主徑間四米、接付徑間三米一九八）種類=軌道ソリテット、車道、木塊、歩道アスファルトボロック▲高欄地覆花崗石高欄金物、鑄鐵並に鋼製橋塔ニ基

《帝室博物館の復興》官民協力による帝室博物館年末に懸賞で募集 復興計画は最近非常に進捗し總工費七百萬圓の豫算の内既に寄附申込額は六百三十萬圓に達したと云ふ事で一方該會館の設計に就いて一般に懸賞募集する前に大體の條件原案を以て京大教授武田五一博士を始め伊藤内田岸田佐藤の各博士の合議によつて研究中であつたが今回右諸氏の協議の結果一貫した條件としては日本趣味を基調とした東洋式で屋根の美を探り入れたものといふ事が根本原則になつた、而して間日約六十間二階或は三階で耐震耐火の鐵筋コンクリート造なるは云ふ迄もないが、その原案の數案が出來上つたらこれを基礎として愈々一般の懸賞募集を爲す段取りであるが其の募集を發表するのは十二月頃になる見込である。

尙着工に先立ち今回敷地の一角に十米四方の小を建て中村博士の監督の下に採光試験を行つたと云ふ事であるが昭和七年春頃には起工を見る筈であると。

《土木建築界の苦手》専門業者をして常に脅威せ百貨店の事業開拓 じめてある百貨店の新事業開拓は遂に土木建築界にその例を見るに至り大阪三越では住宅を新設し斯界進出の第一歩を踏出したが開業早々阪神沿線蘆屋打出、南海濱寺等に相應いで計画の實現を見、殆ど現設備にて手一杯の盛況振りで此調子ではと將來を図る所あり一部では土地會社と提携して大きな躍進を計るべしとの説もあり今後猶數ヶ月間の形勢を見て或は積極的な方針を

とるに至るのでないかと見られてある。

《那須御用邸附近寫真測圖謹製》栃木縣の那須御用邸ならびにその附近一帶は、皇上陛下のしばしば御遊遊される所であるにも拘らず、近邊の地圖は不完全な點多くしてお罷れ多き極みであるので御用邸の寫真測圖を謹製するためこの程宮内省より千葉縣の下志津陸軍飛行學校に空中寫真の謹製方を依頼する處があつたので同校では十五日より十日間にわたつて教官の山田大尉、山中中尉の兩氏が八々式偵察機の精銳に塔乗して御用邸の上空より地上撮影をなすことと決定した、之がため右兩氏は十五日早朝同校を出發一氣に栃木縣金丸ヶ原に飛翔した。

《參急の妙案》參急急行の車輛は田中車輛製作所車内家族室 等に於て建造中であるが、全く電鐵としては從來の型を破り一室八人の座席を設けて買切専用に宛てる計畫を樹て居る、これは山田大阪間二時半牛の超スピードなので多數乗客を吸収する見込から特に家族用として座席日時指定の前賣切符制度を考案した譯で一室借切には特に大割引を行ふ筈でその率に就ては目下考究中であると。

《東京築地病院落成式》東京市立築地病院は昭和三年十一月二十七日東京築地に戸田組請負の下り總工費百四萬五千八百圓を投じて着工以來本年三月復興祭當時鐵筋コンクリート造地階共五階の本館及病室の竣工を見たが其後第二期病棟及び附屬建物1事中のところ去る九月十五日竣工し總延三千九十五坪外に附屬建物四十坪全部を完成した依つて三日關係者参列の下に於て盛大なる落成式を擧行。

右病院は市立病院中の大建築で三、四十人を收容し得られる大病室は一階二階各二室三階一室小病室は一、二階各六室三階三室あり入院患者二百五十人に達し外來患者一日六百人を受付ける大病院で院長海軍病院長兼任し醫師五十一名專任してゐると。

《日本電力の川崎》一千萬圓の工費を投じて、關火力發電所工事 東地方電力供給用として、日本電力が豫て川崎市白石町に建設中であつた發電所が愈々本年一杯に竣工することになつた。出力70,000 K.W. (35,000 K.W. 2台)